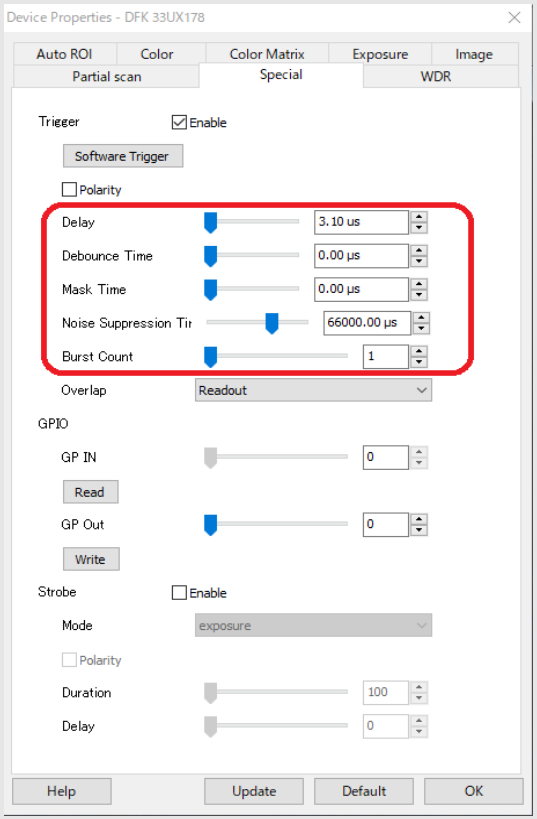


Debounce TimeとNoise Suppression Time

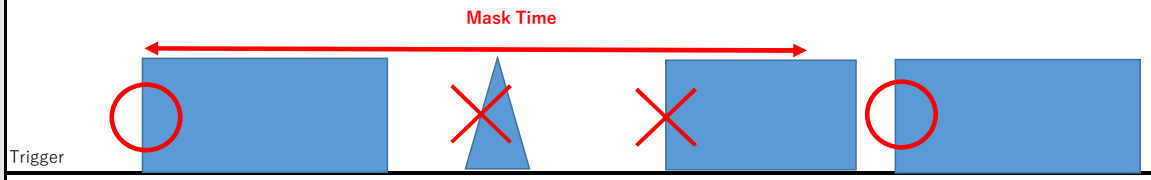
Debounce Time

Debounce Timeで有効と処理するLow時間を設定できます。
設定したLow時間より短い電圧降下などは、
有効なLow信号と見なされず無視されます。

Noise Suppression Time

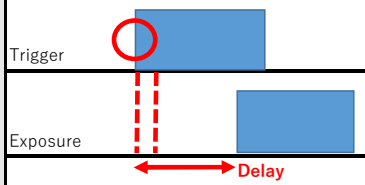
Noise Suppresion Timeで有効と処理するHigh時間を設定できます。
設定したHigh時間より短いスパイクノイズなどは、
有効なHigh信号と見なされず無視されます。

Trigger Mask Time



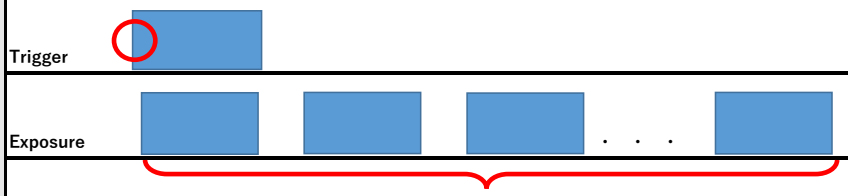
Mask Timeでトリガー時間を設定する事により、その間のトリガー検知イベントは無視されます。
一定間隔で外部トリガーを入力する時などに使います。

Delay



トリガーを検知してから露光を開始するまでの遅延時間です。
デフォルトの遅延時間（点線間）はカメラによって異なります。

Burst Count



Burst Count

1回のトリガー検知イベントで、1～1000枚の画像を、設定したフレームレートで連続出力します。

注意）

全てのDFKシリーズで上記のトリガー機能を使えるわけではありません。
詳細は株式会社アルゴへお問い合せください。

argo@argocorp.com
06-6151-9283

各項目の開設は次のページをご参照ください。

トリガー設定項目解説

設定項目	解説
Exposure Mode（Timed）	トリガーが入力されると設定した露光時間だけ露光します。
Exposure Mode（Trigger width）	トリガーの入力時間だけ露光します。
Delay	トリガー入力後、露光開始するまでの遅延時間を設定します。
Debounce Time ※	設定した時間より短いパルスの電圧降下を無視します。 チャタリングなどによる影響を排除する目的です。
Mask Time ※	設定した時間内のトリガー入力を無視します。 外来ノイズによって誤ってトリガー入力がなされる事を防ぎます。
Noise Suppression Time ※	設定時間以上のトリガーの立ち上がり以下の時間のトリガー入力を無視します。 スパイクノイズなどを無視したい場合に設定します。
Burst Count ※	1回のトリガーで設定したフレーム数をカメラから出力します。 出力レートは設定したフレームレートです。
Overlap（Readout）	画像の読出期間中にトリガーを受けつける設定です。
Strobe Mode（constant）	カメラに固有の固定値だけストロボアウト出力します。
Strobe Mode（fixed duration）	Durationで設定した時間の間ストロボアウトし続けます。 ストロボアウトがスタートするまでのDelay時間も設定できます。
Strobe Mode（exposure）	Exposureをしている間だけストロボアウトします。 ストロボアウトがスタートするまでのDelay時間も設定できます。

※前ページのタイミングチャートを参照